

# 社会資本総合整備計画

最終提出日：平成30年3月23日

<b>計画の名称</b>				
広島都市圏及び備後都市圏の中核拠点機能向上と周辺地域の魅力ある地域づくりの支援				
<b>計画の期間</b>				
平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）				
<b>交付対象</b>				
広島県，安芸高田市，呉市，大竹市，廿日市市，安芸太田町，北広島町，竹原市，三原市，尾道市，三次市，庄原市，世羅町，海田町，熊野町，坂町，神石高原町，府中市				
<b>計画の目標</b>				
○ 地域間を結ぶ道路のアクセス性強化や，生活に密着した道路の円滑化を図ることにより，連携機能や生活利便性を高め，地域の自立と活性化を支援する。また，交通インフラの整備・充実を図ることにより，観光地へのアクセス性を強化し，集客・交流機能を高める。				
<b>計画の成果目標(定量的指標)</b>				
○ バイパス整備等による交通円滑化により，各整備区間を移動するのに要する総時間を平成25年度末(420分)に比べ79分(H30)短縮させる。				
○ 生活道路としての利便性の向上が図られたエリア世帯総数(人口総数)を平成25年度末に比べ60,437世帯(151,553人)(H30)増加させる。				
○ 広島県の年間観光客数を5,893万人(H24)から6,123万人(H30)に3.9%増加させる。				
<b>定量的指標の定義及び算定式</b>		<b>アウトカム指標の現況値及び目標値</b>		
		<b>当初現況値</b>	<b>中間目標値</b>	<b>最終目標値</b>
		(H26当初)	(H28末)	(H30末)
各整備区間を移動する総時間短縮率を算出する。 総短縮時間(分) = Σ整備前の所要時間 - Σ整備後の所要時間		0分	32分	79分
整備道路沿線で生活する住民の生活利便性の向上が図られた世帯総数(人口総数)を算出する。		0世帯	16,031世帯 (41,794人)	60,437世帯 (151,553人)
広島県観光客数の動向調査の数値を使用する。 観光入込客数増加割合(%) = {(評価年度の総観光客数 - H24年度の総観光客数) / H24年度の総観光客数} × 100		0%	2.4%	3.9%